



表紙 21世紀に咲かせよう夢

日向中学校の3年生153人が12月6日、富高幼稚園児130人と市役所前広場で花の苗を植えました。これは「心の教育・花いっぱい交流」として実施されたものです。

生徒らは、園児の手を取りながらパンジーやキンセンカの苗と一緒に、21世紀への夢をプランターに植えました。

プランターに託された夢は、きっと21世紀に大きく花開くことでしょう。

■特集

■新春座談会

21世紀―輝く日向市の実現を目指して

■市政の動き

世界唯一のはまぐり墓石をPR、暴走族根絶のための決議を採択、子供の視線に立った教育を、優良従業員33人を表彰ほか

■まちの話題

小中学生が囲碁で交流、総合点検で消防技術を披露、気持ちも新たに戴帽式ほか

■インフォメーション

年末年始の市の業務「ごみの持ち込みは31日の正午まで」、乳幼児医療費助成制度の変更、市・県民税(国民健康保険税)の申告相談会場の変更ほか

迎春



特集 新春座談会

◎阿部 知尋さん (26歳：春原)
 ◎陶山 雅之さん (25歳：新財市)
 ◎山本 孫春・日向市長
 ◎松下 梨香さん (24歳：切島山一)
 ◎高瀬 直樹さん (20歳：亀崎)

(写真右から)

21世紀—輝く日向市の実現を目指して

21世紀の幕開けです。

今年、日向市にとっても市制施行50周年という記念すべき年となります。

そこで、市広報では、21世紀の日向市のまちづくりについて話し合っていたたく新春座談会を企画しました。

座談会は、100人委員会の一番若い世代で構成するAグループから阿部さん、陶山さん、松下さん、高瀬さんの4人に協力いただき、山本市長と共に夢を語り合っていたきましたので、その模様をお伝えします。なお、司会は、100人委員会担当の市企画課・後藤明さんにお願いたしました。

(文中、敬称は略させていただきます)



松下 梨香さん

まちのシンボルみたいな場所を

司会 あけましておめでと
うございます。

今年、日向市にとって市制施行50周年という節目の年を迎えるわけですが、20世紀をふり振り返り新世紀の日向市がどのように成長していくか、まず日向市長にお伺いしたいと思います。
市長 あけましておめでと
うございます。輝かしい新春、しかも21世紀の最初の年ということで、それぞれすがすがしい気分でお正月を迎えられたことでしょう。

さて、市長に就任して2年目に入るわけですが、これまで市民のみなさんのご支援、ご協力により市政も順調に進展しています。私たちのまち日向市は可能性を秘めたまちです。その可能性にしっかりと挑戦しなければなりません。今年、マスタープラン

(第4次日向市総合計画)がスタートする年でもあります。いろいろな施策を推進していくことになりま

が、今日お集まりのみなさんのように、若者が定着するようなまちにしていきたいかなければと考えています。そういう意味で、お互い知恵を出しあいまちづくりを進めていきたいですね。

司会 それでは、「自分ならこうしたい」「こんな日向市になったらいいな」など自由に意見を出していただきたいと思

います。友だちと集まったとき、よく話題になるのですが、友人との待ち合わせをする場所がないと思

あればいいなあいつも考えています。

市長 そうですね。鉄道高架事業などいろんな事業を進めていますが、そういう中で、若者が交流できる場所をつくりたいと考えています。松下さんにもぜひ、アイデアを出してほしいと思います。

松下 今、全国的に不況だと言われ、就職もなかなか難しくなっています。そんなとき、どうしても技術を身につけたいと考えるのですが、そういう学校がないんです。職業訓練校に女性が訓練できる学科があるとい

います。市長 しっかりと取り組まなければならぬ課題だと、私も思っています。県立の北部高等技術専門学校が、西部に移転することが決まっています。15年度からは空き校舎となるわけですが、その跡地を何とか活用できないものかと、いろいろ考えているところ



高瀬 直樹さん

高瀬 住みやすいまちづくりが大事であることは、みんなの共通認識であると思います。若い人には働く場の提供、高齢者の人には、安心して住みやすいまちづくりだと思っ

プラザの話が出ています。活用しやすく、だれもが自由に利用できる施設であってほしいと思います。市長 私も青年団出身で、第3代、4代日向市長の故

だれもが活用しやすい施設を

高瀬 そうですね。花は心が安まるせいかな、遠くから人が来ますよね。市長 市制施行50周年記念事業では、いろいろと計画

松山 市内あちこちで野良犬、野良猫を見かけますが、かわいそうでなりませんが、飼い主のマナーが一番悪い

市長 本日に深刻な問題ですね。今、まさにペットブームですから、行政としてもしっかり取り組まなければならぬ課題ですよ。陶山 それとインターネッ



陶山 雅之さん

日向ならではのものを見つけて

陶山 私は、日向というまちをもっと知りたくて100人委員会に入りました。その中で、いろんな人の話を聞くことができ、日向市のことも今まで以上に知ることができたような気がします。

市長 そうですね。私も日豊海岸国定公園の良さを引き出す必要があると思っています。日向の海は、すばらしいとよく言われる反面、休養施設や駐車場問題で観光客やサーファーに不自由をかけている面もあります。

阿部 私と同じようなことを考えていました。友だちが来て連れて行くところがないんですね。ついつい市外に出てしまうんです。市長 先ほども少しふれましたが、県外からの方は、美々津の町並み保存地区辺りは関心があるのではないのでしょうか。



阿部 知尋さん

阿部 仕事の合間によく見かけますが、お年寄りや子供が、なかなか道路を渡れないんです。横断歩道も近くに無く、あつても車が止まってくれない。お年寄りや子供にやさしいまちづくりをしてみたいと思います。

地元の人たちも交流ができるようなものにしたと考

め、市民のみなさんにも、郷土の再発見に努めていた

高齢者や子供にやさしいまちを

市長 バリアフリーはとても大事な問題です。私はJRの駅の段差解消にも、積極的に働きかけを行ってき

私は、目くばり、気づけりをしてはならないと、いつも思っています。とくに、人がたくさん集まる場所には、そういうやさしい配慮が必要ではないでしょうか。

市民の知恵ですばらしいまちを

も国際ターミナル港として整備されました。港を大事にした施策を展開しなければならぬと考えています。

そのためには、私たち一人ひとりが、バリアフリーに積極的に関わっていかなくてはならないと考えます。

トがなくてはならない時代になってきましたが、市内の公共施設にパソコンを置いて、子供やお年寄りより利用してもらったらと思

世界唯一のはまぐり基石をPR

第23回JAL杯世界アマチュア囲碁選手権戦

宮崎大会日向市促進協議会

第23回JAL杯世界アマチュア囲碁選手権戦宮崎大会日向市促進協議会総会が11月27日、ホテルポルト日向で開かれました。この大会は、世界のアマチュア棋士たちから「囲碁のオリンピック」として位置づけられているもので、第23回大会が平成13年6月、世界唯一のはまぐり基石の産地である日向市で開かれることになったものです。

日向市促進協議会は、この宮崎大会の運営を支援するとともに、国際交流、地域交流などの各種事業を行い、囲碁文化の一層の普及、



熱心な協議が行われた日向市促進協議会総会

発展と、市の国際化の推進を図る目的で設置されたものです。協議会委員は、日本棋院日向支部の役員をはじめ、市内外の各種団体の代表者、市議会議員、行政関係者など56人で構成されています。総会の冒頭、委員を代表して中須利夫さん（日本棋院宮崎県連合会会長）に同協議会会長の山本市長から委嘱状が手渡されました。あいさつに立った山本市長は、「この協議会は、囲碁選手権戦の支援はもとより、世界各国からの参加者と県民、市民との交流イベントや世界唯一のはまぐり基石の産地である日向市を全世界にPRするために実施する事業を推進するために発足したものです」と、協議会の目的を説明し、協力を呼びかけました。この後、委員らは、事務局から世界アマチュア囲碁選手権戦の概要の説明を受け、協議会規約や大会関連イベントについての協議を行いました。その結果、「県北地域の伝統芸能の披露」や「参加者らと子供、女性との交流」「選手らの歓迎の場の設置」などの意見が出されました。

子供の視線に立った教育を

平成12年度家庭教育を考える集い（小学校・中学校の部）



人間とは代替できないものと熱く語りました

家庭教育を考える集いが12月16日、日知屋公民館で開かれました。集いには、小学校や中学校に子供を持つ保護者ら約110人が参加し、講師の話に熱心に聞き入っていました。講師は、鹿児島純心女子短期大学副学長の濱里忠宜さんで、「子どもたちのかなしみ」という演題で講演。濱里さんは、椋鳩十が自分の幼少のころのことを書いた作品「人間の心」を紹介しながら、「親は子供を駄目にしようと思いついていないのではないが、

子供の悲しみを理解していない。教育とは、心の扉を開くことである」と子供に向かう親の目が減点体質になっている中で、教育の方向性を示しました。次に、お茶の水女子短期大学の先生の言葉を引用して、「教育はほめることである。子供をほめることによって、その子に隠れているものを探すことだ。すぐに怒ってしまうのは、大人に余裕がないからである。このような家庭教育を考える集いは、心に余裕を作るものである」と、この会の開催意義にもふれ

ました。また、「父性原理と母性原理の調和があって、初めて子供の視線や悲しみが見えてくる」と、子供の視線に立つことの大切さも訴えました。最後に、若くして死んだ自分の姉に対する母の思いを例に挙げながら、「人間とは、代替できないもの。絶対的存在なのです」と訴えました。その後、参加者らは、小学校の部と中学校の部に分かれて、座談会形式で家庭教育に関する意見交換を行いました。

2000年を振り返る

みなさんにとって2000（平成12）年は、どんな1年でしたでしょうか。

世界的に見れば、シドニーオリンピックが開催されました。日向市出身のプロ野球・黒木知宏投手（千葉ロッテマリーンズ）も出場し、私たちにすばらしい感動を与えてくれました。このほかにも昨年は、吉野川出身の河野朋子さんが剣道世界一に、沖縄サミットでは橋ひよつとこ踊り保存会のみなさんが参加して日向の名を世界に知らしめるなど、日向市民や日向に縁のある人が世界的に活躍してくれました。

そのような中で、2000年の日向市10大ニュースを選んでみました。

2000年日向市10大ニュース

- ◇南日向コミュニティセンターが完成（2月12日）
- ◇一般廃棄物最終処分場が完成（3月4日）
- ◇第14代日向市長に山本孫春さん（3月31日）
- ◇映画「15才～学校IV」の日向ロケ（5月21日）
- ◇100人委員会を設置（7月13日）
- ◇細島港国際ターミナルが完成（8月11日）



- ◇全国中学校体育大会ソフトボール大会を開催（8月20日）
- ◇第1回日向市女性議会を開催（8月30日）
- ◇第23回JAL杯世界アマチュア囲碁選手権戦宮崎大会の日向市開催が決定（9月4日）
- ◇日向市情報公開条例を制定（9月27日）

暴走族根絶のための市民集会

暴走族根絶のための決議を採択

日向市及び日向市交通安全対策協議会は11月30日、「暴走族根絶促進のための市民集会」を日知屋公民館で開催し、暴走族根絶のために市民総ぐるみで取り組むことが明記された「日向市暴走族根絶促進のための決議」を採択しました。集会の冒頭、弓削哲郎助役が「青少年が中心となつて行われる暴走行為は、交通秩序を無視した行為であるばかりでなく、市民に不安を与え、安全と平穏な生活を著しく阻害するものです。私たち一人ひとりが傍観せず、暴走行為は絶対に許さないという姿勢のもと、市民総ぐるみで暴走族根絶促進のために取り組む必要があると思えます」と集会の意義を説明し協力を要請しました。続いて、日向警察署の杵岐交通課長が、今年正月の暴走行為のビデオをもとに現状を説明。国道周辺の住民や保護者、ガソリンスタンドの代表者



暴走族に対する危険発表を行う参加者

からは「暴走族の騒音で入院患者が眠れなくて体調を崩している」「家庭や学校において、人に迷惑をかけることや善悪を判断することを教えていかなければならない」「改造車には給油はさせないという、き然とした態度で運動に取り組みたい」などの意見発表がありました。最後に、市青年団連絡協議会事務局長の中野格さんが「暴走行為をしない、させない、見に行かないを運動の柱として、暴走族根絶促進のため市民総ぐるみで取り組みます」と決議文を読み上げました。

ユーモアたっぷりの講演に熱中



人間は限りなく平等であると訴える林さん

名称も新たに日向市男女共同参画事業「ひまわりフォーラム」の講演会が12月1日、市中央公民館で開かれました。

講師は、エッセイストでタレントの遥洋子さん(写真)。遥さんは「あたらしい風 自分らしい生き方 見つけてみませんか」という演題で講演。関西弁でユーモアたっぷりに語る遥さんに、集まった市民は引き付けられていました。

遥さんは、仕事と家庭の両立などこれまでの自分の生活を振り返りながら「言われたことに反論できる理屈を身につけて」と訴えました。

12月4日から10日までの1週間は「人権週間」でした。期間中、市では、「同和」問題市民講演会や街頭啓発などさまざまな活動が行われました。

第18回日向市「同和」問題市民講演会は12月6日、市中央公民館で開かれました。

講師は、社会学博士で九州大学などで非常勤講師を務める林力さん。「人権と共生の21世紀と同和問題」という演題で講演しました。林さんは、父親がハンセン病患

人権の尊重される21世紀を

12月4日～10日は人権週間

者であり、国の隔離政策がいかに人権を無視したものであったかを指摘しました。さらに国連が日本に示した人権についての勧告の例を挙げながら「女性だけが離婚後、6か月経過しないと再婚できないのはおかしい。バリアフリーも車椅子で出かけた人がいたから考えられるようになった。差別・被差別の関係は黙っていても解決しない。闘いがあって、人権は切り開かれていく」と訴えました。

また、林さんは「同和問題は、見た目で判断できないもの。見えるようで見えない、見えないように見える日本特有の差別である」と、同和問題の根深さも紹介。

最後に、「人間が、ただ人間であることによってその生命が限りなく尊く、限りなく平等である」と講演を締めくくりました。

また、人権週間における街頭啓発は12月5日、市内のスーパー5店舗で行われました。

会場となったアステイ日向寿屋の入り口では、山本市長や日高商工会議所会頭など6人がチラシや「身元調査お断り」の啓発用品を配りながら、「人権を守りましょう」と呼びかけました。



表彰状を受け取る日高市民課長

交通死亡事故「0」240日間達成

一人ひとりの自覚と行動で

市内では、平成12年12月5日までの240日間、交通死亡事故が1件も発生していません。これは、市民一人ひとりの交通安全に対する自覚と行動によるものです。市は12月11日、この交通死亡事故「0」240日間達成に対し、宮崎県交通安全対策推進本部から表彰を受けました。

表彰式は12月11日、市長室であり、富山和年県交通対策監が「交通量の多い国道を抱える市を表彰できることはめつたにたい」と表彰状を日高市民課長に手渡しました。

交通事故は、いつ自分が加害者や被害者になるかわかりません。無事故に向かって、みんなで挑戦しましょう。

優良従業員33人を表彰



表彰式後、山本市長を囲んで記念撮影

勤労感謝の日を記念して毎年行われている「日向市商工業優良従業員表彰式」が11月20日、市役所委員会室で開かれました。

この表彰は、従業員の勤労意欲の高揚と定着性を高めることを目的に行われているもので、市内の同一事業所に10年以上勤務し、企業の発展に貢献している人を日向市及び日向商工会議所が表彰するものです。

今回は、事業主の推薦と審査会の承認を受けた男性26人、女性7人の計33人が受賞しました。

式では、山本市長が「県北の核都市であり、工業都市である日向市にとって、市の産業を支えるみなさんには大きな期待が寄せられています。今後とも健康に留意し、後進の育成指導をはじめ、本市の産業振興と企業発展のためにご協力をお願いします」とあいさつしました。

これに対し、受賞者を代表して(株)日向衛生公社の塩月謙さんが、「本日、表彰されたのは、事業主をはじめ、諸先輩、同僚、そして家族の支えがあったからです。今日の感激と感謝の気持ちを忘れることなく、なお一層精進します」とお礼の言葉を述べました。

- 受賞者は次のとおり(順不同・敬称略・かつこ内は勤務先)。
- 【男性】塩月謙(日向衛生公社)、黒木直人(南日本ハム)、黒木暉二(矢野産業)、菊池福美(サンケイ)、柏田豊年(南日本ハム)、黒木幸雄(八興運輸)、松田耕八(同)、椎葉重信(同)、鈴木明(旭コード)、桑山政郎(日向簡易保険保養センター)、山本勇一(旭コード)、高原哲男(藤屋写真印刷)、三樹一憲(えびはら商会)、大橋辰彦(上野硝子建材)、岩切次生(マルビシ興運)、坂本潔(山海社)、児玉孝雄(内山建設)、鈴木末広(旭建設)、松田圭三(東洋プロパン瓦斯)、落合真二(日向測量設計)、一政富士雄(赤木種鶏場)、原田豊(岡田測建コンサルタント)、高松宗春(重黒木自動車)、堤日出則(双葉設備)、椎葉博文(甲佐商事)、佐藤祥晴(ハッコートラベル)
 - 【女性】児玉江美子(南日本ハム)、橋口学(田村歯科医院)、平賀三千代(黒木碁石店)、小出時子(サンケイ)、甲斐尚美(日向保養センターサービス)、一政純子(玉屋家具)、金丸真奈美(旭コード)

市長随想



山本孫春 ㊦

家庭はオアシス

少年の問題行動、暴力、いじめ、学級崩壊、児童虐待、さらには家族や夫婦を取り巻く環境の悪化に伴う報道を見聞するときに、心の痛み思いがたします。その背景には、複雑多様化した世相に、その大きな原因があることを反省しなければなりません。

今、私たちの日常生活の中に、一家だんらんのひとつときや親子夫婦間のコミュニケーションがどれだけあるでしょうか。家庭は、生活を共にする家族の集まりであると同時に、住みよい地域社会を築く原点でもあります。

新しい21世紀が始まりました。少子化の時代です。時代を担う青少年の健全育成のためにも、家庭は「心豊かな人間性を育むオアシス」であってほしいものです。今一度、家庭の存在意識を一人ひとりがしっかりと見つめ直すことが大事ではないでしょうか。

情報伝言板

「情報伝言板」は、皆さんの自主的な活動を応援するコーナーです。サークル活動などの会員募集やイベントなどの情報をお寄せください。営利や政治・宗教活動を目的としたものはお断りします。

原稿は、毎月1日までに市総務課(☎内線2234)へ。ただし、紙面のスペースの関係上、掲載できない場合があります。

■高等職業訓練校のパソコン講座

日向地区職業訓練会高等職業訓練校では、次のとおり初心者を対象にしたパソコン講座お開きます。◇コース及び期間=ワード入門/1月11日~3月27日の毎週火・木曜日、エクセル入門/1月10日~3月26日の毎週月・水曜日 ◇時間=午前の部/午前9時~11時30分、午後の部/午後1時~3時30分、夜間の部/午後6時30分~9時 ◇受講料=32000円 ◇問い合わせ=日向地区職業訓練会・高等職業訓練校(☎54-7350)

■絵手紙講座と展示会

女性問題に関するさまざまな活動を行っているあしたばの会(いきいき女性アドバイザー)では、絵手紙講座と展示会を開きます。◇日時=講座(無料)/1月20日(土)午前10時~正午・午後1時30分~3時30分、展示会/1月18日(木)~23日(火) ◇会場=まちかど交流クラブ・きてん ◇問い合わせ=赤木容子(☎54-7079)

■中部高等技術専門校の生徒募集

◇科名・定員=電子機器科10人、電気設備科10人、建築技術科5人 ◇応募資格=高校卒業程度の学力を有する人 ◇訓練期間=1年間 ◇願書受付=1月15日~2月16日 ◇選考試験日=2月23日(金) ◇選考方法=筆記試験、適性検査、面接 ◇問い合わせ=県立中部高等技術専門校(☎0983-23-0523)

生涯学習・生きがいつくりの強い味方

人材バンク日向きらめき人

- ①指導分野/郷土料理
- ②住所・連絡先/細島(市社会教育課)
- ③指導曜日・時間/いつでも可
- ④謝礼金/相談のうえ
- ⑤送迎/不要
- ⑥メッセージを一言/細島地区の小学生と地域婦人会との郷土料理伝承の交流には、毎年関わっています。これからも、地域に伝わる昔ながらの料理方法を、そのまま伝えていきたいと考えています。後は、その人なりに工夫して、自分の味にしてほしいですね。



白坂アサエさん(71歳)



轟 伊藤見さん(80歳)

- ①指導分野/本の読み聞かせ
- ②住所・連絡先/原町(☎53-2381)
- ③指導曜日・時間/いつでも可
- ④謝礼金/無料
- ⑤送迎/要
- ⑥メッセージを一言/図書館の読み聞かせボランティアをしています。「生涯学習の土台は図書館にある」というのが持論です。もっと図書館に足を運び、そして絵本を見直しましょう。読み聞かせというよりも読み語りの交流で、子供たちからの反応が楽しみです。

わたしの おすすめの一冊



黒田 美智子さん
(56歳: 切島山2)

今、子供たちの心のケアが問題になっていて、幼児教育も変わろうとしています。シユタイナー教育やモンテッソーリ教育、心の教育など。そんな中「窓ぎわのトットちゃん」をお薦めします。今の子供に欠けている何かが見つかります。



甲斐 涼子さん
(44歳: 曾根町)

木城のえほんの郷で見つけた「木はいいなあ」は、小さな子供たちに読み聞かせする本です。自然の大切さや春夏秋冬の移り変わりを、木とのすばらしい生活を子供たちにも味わってほしいという、作者の願いがにじみ出ています。

このコーナーでは、みなさんのおすすめの一冊を募集しています。詳しくは、市立図書館(☎54-1919)へ。

声 VOICE

ぼくたち わたたちの

今月号は、市教育委員会社会教育課が募集しました人権作品に寄せられた人権作文を紹介いたします。

今年知ったこと

大王谷中学校3年 林田 みゆきさん



「同和問題」。私がそのことを知ったのは、社会の授業のときでした。それから、少し調べてみようと思うようになりました。授業のときには、就職や結婚の差別の話を読みました。本を読んだり、話を聞いたりしたところ、部落の人だからと言って結婚を反対されたり、就職できなかったりしているそうです。今でも部落差別があります。それは多分、部落の人たちは自分と違うという種をまかれたからだと私は思っています。その種をまいたのは、親や大人だと思っています。そして、その種は成長し、ま

たできた種を自分の子供たちにまいてしまつて、今の時代まで差別は生きてきたのです。でも差別は、明治4年の解放令でなくなったはずですが。しかし、それは、上辺だけでした。現実には、差別は固く存在しています。ある本に部落の人たちの手紙や遺書などが書かれていました。そこには、「口惜しいよ。口惜しいよ」など心に詰まることばかりが書いてありました。私は、部落の人たちの本当の悲しみ、苦しみ、口惜しさが分かりません。なぜその人たちは、差別されなければならぬのか、同じ人間なのに。しかし、部落差別だけでなく、そのほかの差別も減らす努力はだれにでもできます。けれど、誤った解決策をとってはいけません。本には「寝た子を起すな」という言葉がありますが、問題をそつとしておいて無くなるのなら、1871(明治4)年の解放令後、100年以上も経っている今日、問題は解決しているはずですよ」と書いてありました。私は、全くそのとおりだと思います。差別は、現実には存在しています。差別を作ったのは人間です。そして、差別を減らしていくのも当然人間だと思っています。(紙面の都合により一部省略)

後藤 孝幸さん(18歳: 川路)

11月からホテルベルフォート日向に勤め始めました。今は、結婚式場やパーティ会場のセットなどが主な業務です。バイクが好きで、1年前に免許を取りました。いつかは、アメリカでバイクに乗りたいですね。



いきいき 青春トーク

このコーナーでは、みなさんの近所の若者や職場のホープを紹介しています。紹介したい人がいるかたは、市総務課(☎内線2234)までご連絡ください。なお、自薦、他薦は問いません。ご連絡をいただいた人は、広報係が写真を撮りにつかがいます。



黒木 由美さん(20歳: 往還)

コンビニのスパークス前店に勤務しています。楽しい職場なので、私も笑顔をもっとに頑張っています。将来は、看護婦の道に進みたいと思っていますので、来年は准看の学校に行こうと考えています。

お知らせ

年末年始の市の業務

ごみの持ち込みは31日の正午まで
 市役所は、12月29日から1月3日まで休みとなります。そこで、年末年始の市の業務をお知らせします。

戸籍届
 出生届や婚姻届などは、市庁舎玄関横の警備員室で受け付けます。住民票や戸籍の写し、印鑑証明等は発行できません。

水道の修理
 水道の修理については、浄水場 ☎ 54-5500

1月の納期

市 県 民 税	第4期
国民健康保険税	第8期
国民年金保険料	1月分

この社会あなたの税が生きている

へお問い合わせください。
し尿くみ取り
 年末は12月28日まで、突発的な事故等は、浄化センター ☎ 54-5277 へ。
ごみの収集
 12月29日(金) 火・金曜日コースの燃やせるごみを収集します。
 12月30日(土) 持ち込みのみ(午前8時30分～正午、午後1時～4時)
 12月31日(日) 持ち込みのみ(正午で閉門します)
 1月1日～3日 休みで持ち込みできません。
 ※1月3日(第1水曜日)の燃やせないごみの収集は、1月6日(土)に行いますが、持ち込みはできません。
 詳しくは、市環境整備課 ☎ 53-2256 または清掃センター ☎ 53-3401 へ。

消防本部からのお知らせ
空き地や空き家の管理はしっかりと
 空気が乾燥してくると、枯れ草を出火元とする火災が多くなります。枯れ草による火災で、貴重な財産を失う家屋火災に発展することもあります。また、空き家についても、不審火等により他人の家まで延焼させることがあります。
 市火災予防条例では、空き地や空き家を所有または管理するみなさんは枯れ草の刈り取りや空き家の管理などについて火災予防上必要な措置をとらなければならないことになっています。
 市民総ぐるみで、火災のない安全で住みよいまちを目指しましょう。
 詳しくは、市消防本部 ☎ 53-5948 へ。

巡回婦人相談
婦人相談員が相談に応じます
 宮崎県中央福祉相談センターでは、法務局の特設人権相談に併せて巡回婦人相談を次のとおり開きます。
 「家庭内での不和やいざこざがある」「男女関係で悩んでいる」「暴力や脅迫から逃れたい」「生活上のさまざまな問題で悩んでいる」などの問題に婦人相談員が相談に応じます。どうぞご利用ください。
日時 2月8日(木)
会場 市中央公民館
問い合わせ先 宮崎県中央福祉相談センター ☎ 985-22-3858

国民生活金融公庫の教育融資制度
ご利用ください 国の教育ローン
 高校・大学への入学時や在学中に必要な資金を融資する公的制度として、「国民生活金融公庫」があります。
対象校 高校・短大・大学・大学院・専修学校・各種学校、外国の高校・大学
融資限度額 学生・生徒一人につき200万円以内
融資期間 10年以内(在学期間中は据え置き可)
返済方法 毎月元利均等払(ボーナス併用払も可)
利率 年2.2%
問い合わせ先 国民生活金融公庫 ☎ 0982-16311

1月の相談

- 交通事故巡回相談 とき 1月26日(金) 10:30～14:30 ところ 中央公民館
- 法律相談(要予約) とき 1月18日(木) ところ 中央公民館
- 申込先 市民課 ☎ 内線 2139
- 年金巡回相談 とき 1月9日(火) 10:00～15:00 ところ 青少年ホーム

「市民の声ポスト」
 市は、市政に対する皆さんのご意見・ご要望をお聞きするため、市民の声ポストを庁舎玄関に備え付けています。どうぞ、ご利用ください。なお、ご意見等には、必ず住所・氏名・連絡先等を明記してください。



林業改善資金貸付金
林業経営の改善や労働災害の防止に

県では、林業経営の改善労働災害の防止等を目的に森林所有者、林業従事者等向け林業改善資金(無利子)の貸付を行っています。本年度の申請期限は、1月22日、2月20日です。
対象 森林所有者、林業経営者・従事者、素材生産業者、製材業者等(製材業者は間伐材高度利用施設資

金、特認間伐施設資金)
貸付限度額 各資金内の機械・施設ごとに定めがあり、貸付金の合計の限度額は個人1500万円、会社3000万円です。
償還方法 貸付年度の翌年からの年賦均等払
償還期間 資金の機械・施設ごとに3年～10年
資金の種類 団地間伐促進資金、高品質材生産資金、技術導入資金、地域技術導入資金、間伐材高度利用施設資金、特認間伐施設資金

宮崎県最低賃金・産業別最低賃金の改正

県内事業所で働くすべての労働者に適用される宮崎県最低賃金と、特定の産業で働く労働者に適用される産業別最低賃金が次のとおり改正されました。

最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどを含めたすべての労働者に適用されます。また、最低賃金の対象となる賃金には、①賞与などの臨時の賃金、②時間外労働などの割増賃金、③精皆勤手当、通勤手当及び家族手当は含まれません。

業 種	最低賃金額	時間額	効力発生日
宮崎県最低賃金	4,795円	600円	平成12年10月1日
肉製品・乳製品製造業	5,028円	629円	平成12年12月25日
電気機械器具製造業	5,226円	654円	平成12年12月28日
各種商品小売業	5,111円	639円	平成12年12月30日
自動車(新車)小売業	5,337円	668円	平成12年12月5日

詳しくは、宮崎労働局賃金室 ☎ 0985-38-8825 または延岡労働基準監督署 ☎ 0982-34-3331、最低賃金テレホンサービス ☎ 0985-23-4811 へ。

認可保育園児の募集
家庭で保育できない人が対象です

安全生産施設資金、負荷除去等施設資金、福利厚生施設資金、研修教育資金、林業経営開始資金
問い合わせ先 県木材振興課 ☎ 0985-26-17156

市は、来年4月から入所する保育園児の入所申込を次のとおり受け付けます。
入所基準 保護者が、昼間働いたり、長期の病気や出産などの理由のため、家庭で児童の保育ができない場合が対象となります。幼児教育を受けさせたいとか、集団生活に慣れさせたいなどの理由では、入所できません。
申込書の配布 市福祉事務所及び保育所(園)
受付期間 1月4日(木)～1月31日(水)
受付場所 市福祉事務所(17番窓口)
問い合わせ 市福祉事務所 ☎ 内線 2163

あなたとわたしの男女共同社会

男女共同参画による豊かなまちづくりを進めるためには、地域活動、環境問題などさまざまな分野に女性と男性が自主的に参画することが重要です。市は現在、男女共同参画社会づくり推進ルーム「さくら館」をだれもが利用しやすい施設とするために、市文化交流センター内に移転する計画です。市民の自主的な地域・社会活動の拠点となるこの施設では、それらの活動の中に男女共同参画の視点が反映されるよう、みなさんと共に取り組んでいきます。

税金一口メモ

完納証明が必要なときは
 日向市の指名願受付が、2月1日から始まります。その添付書類として完納証明が必要となりますが、1月31日納期限の市県民税、国保税、2月13日納期限の特別徴収などの証明はすぐに納付の確認ができないため、問い合わせに時間を要します。確認事務をスムーズに行うために次の書類をご持参ください。
 ①窓口納付の方は市税領収書
 ②口座振替の方は預金通帳(振替済みの記帳後のもの)
 詳しくは、税務課管理係へ。

ねんきん何でも Q&A

Q. 第3号被保険者の届け出を怠ると、どうなるのですか?
A. 厚生年金加入者等の配偶者が加入する第3号被保険者の届け出は、第2号被保険者の扶養になったときはもちろん、扶養者が転職するごとに届け直さなければなりません。この届け出を行うことで、個人で保険料を納付する必要がなくなります。この手続きをしないで2年が経過すると、届け出から2年より前の期間は保険料未納期間となりますので、注意が必要です。

市・県民税（国民健康保険税）の申告相談会場が変わります

毎年2月16日から3月15日までの期間で実施しています市・県民税（国民健康保険税）の申告相談については、平成13年からコンピュータを用いることになりました。このコンピュータを利用することにより、複雑な課税計算のスピードアップが図られる反面、コンピュータ機材の事故防止及び機能の安全性を確保するため、機材の搬入及び設置の移動回数を少なくする必要がありますが、

また、平成13年の申告からは、農業所得の目安とされていた「農業所得標準」が水稲を除き廃止され、特に牛の生産農家（青色申告者を除く）の申告が収支計算となることから、申告相談時間の延長に伴う待合所等の混雑が予想されています。

限られた申告期間の中で日程を増やすことも容易ではなく、さらには相談者のプライバシーの保護を確保するために申告相談会場、待合所及び駐車場が完備された施設において効率的な申告相談を実施することが望ましいとの結論に達しました。

つきましては、平成13年の申告相談から次のとおり会場を変更しますので、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

詳しくは、市税務課市民税係（☎内線2115）へ。

申告会場の変更地区	
対象地区	申告会場
新財市、権現原、塩見ヶ丘、中村、奥野、永田、千束口	中央公民館
比良、往還、松原、切島山1、切島山2、大谷尻	中央公民館
秋山、向洋台	南日向公民館
幡浦	日知屋公民館
清正、吉野川、地藏、八坂、庄手向、八幡、高々谷、伊勢、宮ノ上	日知屋公民館
鷺毛、粉木	南日向公民館
田の原	美々津公民館

※詳しい日程は、後日お知らせします。

さむ〜い季節ほど 星の光が映えますね

市中央公民館では、恒例の「冬の星を見る会」を開きます。
◇日時＝1月19日(金)午後7時～
◇会場＝お倉ヶ浜海水浴場駐車場
◇用意するもの＝防寒具、持っている人は望遠鏡・天体望遠鏡など
※曇天、雨天の場合は、中止とします

体験してみませんか 手漉き和紙づくり

県内に残っている唯一の手漉き和紙である美々津手漉き和紙。市は、この美々津手漉き和紙について理解を深めていただこうと、紙漉き体験や講話を行う第2回美々津手漉き和紙講座を開きます。
この機会にあなたも和紙を漉いてみませんか。
◇日時＝1月28日(日)午前9時～11時30分
◇会場＝市中央公民館
◇内容＝①講演「宮崎の手漉き和紙」／緒方博文(市教育委員会学芸員)、②実演「美々津手漉き和紙」／

佐々木寛治郎(市指定無形文化財「美々津手漉き和紙」の製作技術)保持者)
◇参加資格＝中学生以上。
※ただし、30人になり次第締め切ります。
◇受講料＝無料
◇申込期限＝1月26日(金)
◇申込先＝市教育委員会社会教育課(☎内線2425)

生かしませんか あなたの知識や技能

市は、さまざまな知識や技術、経験を持つている人を発掘し、生涯学習の指導者としてその人材の活用を図るために、生涯学習人材バンク「日向きらめき人」を作成しています。現在、レクリエーションや竹細工、生活科学などの分野に127人が登録しています。今回、新たに募集を行います。あなたが持っている知識・技能・経験を、生涯学習に生かしてみませんか。
◇申込方法＝登録申込書に必要事項を記入のうえ、市教育委員会・社会教育課へ提出してください。申込書は、市社会教育課、中央公民館及び各地区公民館にあ

ります。
◇申込期限＝平成13年1月31日(月)
◇問い合わせ＝市社会教育課(☎内線2423)
くらしとおかね体験作文コンクール
お寄せください
暮らしを巡る体験作文
貯蓄広報中央委員会及び宮崎県貯蓄広報委員会では、次のとおり「くらしとおかね体験作文」を募集しています。「金融ビッグバン」が進展する中での、資産の運用管理の工夫・努力、「生活設計を立てるうえでの苦心・アイデア」、「家計簿記帳による生活の変化」、「子供に対する金銭教育や経済教育」など暮らしを巡る体験作文をお寄せください。
◇募集部門＝第1部門／おかねの育て方、守り方、第2部門／わが家のやりくりと生活設計、第3部門／子どもとおかね
◇応募資格＝誕生日が昭和60年4月1日以前の人
◇応募方法＝本文は、A4判横の用紙に2000字以内(フープロ可)、縦書き、右上綴り。ただし、別紙に次の事項を明記のうえ添付

「障害者の日」記念のついでに 金メダリストの話を聞きましょう

市は、障害者問題についての理解と認識を深め、障害者福祉の増進を図ることを目的に、「障害者の日」記念のついでに事業・日向市福祉講演会を開きます。講師は、シドニーパラリンピックの競泳で6つの金メダルを獲得した成田真由美さん。「自分の可能性を求めて…」をテーマに講演

乳幼児医療費助成制度が変わります

現在、市は0～4歳未満の乳幼児に対して医療費の助成を行っていますが、この制度内容が平成13年2月1日から下表のとおり変わります。
ただし、2月診療分以前の医療費の申請は、従来どおりの医療費助成申請書で請求してください。
「3歳及び4歳に達する日」とは、誕生日の前日になります。
なお、歯科診療分は、市単独事業として4歳に達する日の属する月の末日まで拡大しました。

	現 行		改 正 後	
	入 院	4歳に達する日の属する月の末日まで	入 院	4歳に達する日の属する月の末日まで
助成対象	入院外	3歳に達する日の属する月の末日まで	入院外	4歳に達する日の属する月の末日まで
	それ以外	3歳に達する日の属する月の末日まで	それ以外	3歳に達する日の属する月の末日まで
自己負担額	月1000円		各医療機関月(1診療科ごと)300円(調剤薬局を含む)	
申請方法	県内外の各医療機関・調剤薬局で乳幼児医療費助成申請書に証明をもらい、福祉事務所窓口で申請する。		県 内	各医療機関の窓口で、月の最初の受診の際に300円を支払ってください(調剤薬局での支払いはありません)。
			県 外	今までの申請方法と変わりません。
申請時に必要なもの	申請書、保険証、通帳、印鑑		県 内	福祉事務所の窓口での手続きはなくなります。
			県 外	今までの申請時と変わりません。

していただきます。多くのみなさんのお越しをお待ちしています。
◇日時＝平成13年1月23日(火)午後7時開演
◇会場＝市中央公民館
◇入場料＝無料
◇問い合わせ先＝市福祉事務所(☎内線2171)

テーマは、「大きな手小さな手みんな参加 福祉の輪」。会場では、福祉バザーや市場、ふれあいコーナー、福祉施設コーナーなどさまざまなコーナーが設けられています。
友達同士や家族連れでの参加をお待ちしています。また、当日のバザー品の提供をお願いしています。ご家庭で不要になったものがありましたら、2月2日まで同実行委員会(市社会福祉協議会内)へお寄せください。
詳しくは、市社会福祉協議会(☎52-2572)へ。

あこやがひろは



城井菜々美ちゃん
誠仁・美千子(梶木)



遠藤奈々ちゃん
幸男・さとみ(比良)



矢野智大くん
誠彦・八千代(中原)



今村紗弥加ちゃん
幸治・陽子(永江町)



西畑早彩ちゃん
孝志・香代(新生町)

乳幼児健診

■ 3か月児健診=日時/1月12日(金)、26日(金)、
対象/平成12年10月生まれ

■ 7か月児健診=日時/1月19日(金)、対象/平
成12年6月生まれ

■ 1歳児健康相談=日時/1月16日(火)、対象/
平成11年12月生まれ

■ 1歳6か月児健診=日時/1月18日(木)、対
象/平成11年6月生まれ

■ 3歳児健診=日時/1月11日(木)、対象/平成
9年6月生まれ

※受付時間は、3か月児・7か月児/午後1時～
1時30分、1歳6か月児・3歳児/午後1時～2
時、1歳児/午前9時30分～10時です。母子健康
手帳を忘れずに、市民健康管理センターへ。

すくすく教室

◇日時=1月23日(火)午後2時～午後3時30分

◇対象=生後6か月までの乳児を育児中のお父さ

ん、お母さん
◇内容=①栄養士との離乳食作り・試食、②体重
測定・身長測定、③赤ちゃんの健康相談、④ママ
やパパ同士の交流会など

◇会場=市民健康管理センター

◇持参するもの=母子健康手帳

※予約・参加料は、必要ありません。

パパママ教室

◇日時=①1月14日(日)、②28日(日)午前10時～

◇対象=出産を迎えるパパとママ

◇内容=①赤ちゃんのおふろの入れ方、妊娠疑似
体験、②妊娠中の歯の管理(歯科医師・歯科衛生
士)、パパとママのための栄養の知識など

◇会場=日向市民健康管理センター

◇申込方法=開催日の1週間前までに氏名、連絡
先を市民健康管理センターまでご連絡ください。

新世紀から脳力アップ

今年からいよいよ21世紀。新世紀を健康で過ご

1月の休日在宅医

※事前にテレホンサービス
(☎53-1214)で確認を!

1日	二木医院(産婦・外・胃腸☎54-4468) 協和病院(精神・神経☎54-2806) 吉田クリニック(内・循環☎55-0770)
2日	鮫島医院(整外☎52-8191) 吉森医院(内・胃腸・循環・呼吸☎52-4046) 永田医院(産婦☎52-3388) 医心内科(内☎55-0157)
3日	和田病院(内・外・脳外・放・リハ・整外☎52-0011) 緒方医院(内・小児☎53-6333) くらき胃腸科内科(胃腸・内☎55-0505)
7日	和田病院(内・外・脳外・放・リハ・整外☎52-0011) 緒方医院(内・小児☎53-6333) くらき胃腸科内科(胃腸・内☎55-0505)
8日	三股病院(内・外・整外・胃腸・麻酔☎58-0034) 尾崎眼科(眼☎52-5600) 今給黎医院(内・循環☎54-2459) 寺尾医院(産婦☎63-1447)
14日	渡辺病院(産婦・泌尿☎57-1011) 天生堂医院(内・整外・麻酔・リハ☎53-8910) こどもクリニックたしろ(小児☎56-1515) 武富医院(皮☎52-5522)
21日	千代田病院(内・外・整外・胃腸・リハ・皮・放・麻酔☎52-7111) 柳田医院(産婦☎52-2950) 瀧井病院(内・精神☎52-2409)
28日	二木医院(産婦・外・胃腸☎54-4468) 協和病院(精神・神経☎54-2806) 吉田クリニック(内・循環☎55-0770)

ヘルシークッキング

南瓜のミルク煮
《材料4人分》
かぼちゃ 400g
玉ねぎ 1個
サラダ油 小さじ2
水 200ml
コンソメの素 1.5個
牛乳 200ml
《作り方》
①かぼちゃと玉ねぎを2cm位に切る。
②鍋に油を熱し、野菜を炒め、水とコンソメを加えて柔らかくなるまで煮る。
③最後に牛乳を入れて、1～2分煮込む。
エネルギー 134kcal
塩分 1.1g(1人分)

すため、生活の中にも新しい習慣や体験を取り入れてみてはいかがでしょうか。

みなさんご存じのように、私たちの脳は使わなければ、どんどん衰えていくばかりです。しかし、逆に脳は、使うことで活性化させることもできます。私たちの行動すべてに関わる大切な脳。脳は、使うというより、ちょっと生活習慣を変えるだけで、十分活性できるのです。

今回は、その活性に向けた新習慣へのヒントを紹介いたします。まずは、自分の脳の老化チェックをしてみましょう。次の項目の中で、自分に当てはまる項目はありませんか。

- ①以前に比べ、笑わなくなった。
- ②出かけるのが面倒になった。
- ③硬い食べ物が嫌いになった。
- ④食欲が旺盛になった。
- ⑤新しいもの、新しいことに興味がなくなった。

さて、該当すると思う項目はいくつでしたか。実は、この5つは脳の老化の兆候で、数が多いほど老化が進んでいることになり、2～3個ある人は要注意です。

それでは、次にこの老化防止のための新生活習慣のすすめです。

- ①人と会話する。
- ②景色や動物に接してみる。
- ③つま先で地面を蹴りながら歩く(外出しよう)。
- ④食べ物をよく噛む。
- ⑤きつめの服・下着は避ける。
- ⑥手先を使う(家事や庭いじり)。

このほか、おふろで体を洗う順序を変えたり、逆の手で歯を磨いてみたりするのも、脳の活性化への新習慣につながります。

何にしても「楽しく」をモットーにチャレンジしてみてください。

1月の献血日程

12日(金)	北部港湾事務所	9:30~11:00
	市環境整備課	11:40~12:40
	旭化成工業(株)日向事務所	14:10~16:10
19日(金)	ジャスコ日向店	9:50~16:00
19日(金)	日向市役所	9:30~16:00

24時間子育て

テレホンサービス
☎53-5857
日向市保育協議会



1/1(月)	睡眠のしつけ (1)自分で着たり脱いだり (2)一人で寝る
1/7(日)	(3)寝つきの悪い子供
1/8(月)	偏食と小食 (1)食事はきちんと (2)食事のさせ方
1/14(日)	(3)食事の工夫、演出
1/15(月)	ことばの能力を伸ばす (1)3歳で日常会話に不自由なくなる (2)よりよい言葉の環境を作る
1/21(日)	(3)言葉の遅れが気になる
1/22(月)	じっとしていない幼児 (1)幼児の成長と動き (2)親の「注意の目」
1/28(日)	(3)動きの「けじめ」と「しつけ」
1/29(月)	安全のしつけ (1)不慮の事故死の第1位は (2)正しい道路の歩き方は
2/4(日)	(3)学校に通う道の指導は

11月中の交通事故

日向市分	() 内前月比		
人身事故	死亡	負傷者	物損事故
49件	0人	63人	109件
(-10)	(±0)	(-14)	(-9)

～止まって確認!無事故に挑戦～

日向市の人口と世帯

(H12.12.1.現在)

人口	59,177人	(+63)
男	27,945人	(+42)
女	31,232人	(+21)
世帯数	22,224世帯	(+74)

転入	171人	転出	120人
出生	47人	死亡	35人

面積 117.34km²

※2000年国勢調査人口とは異なります。

郷土の歴史

シリーズ15

一台の自転車

市制施行50周年記念日向市史編さん事業

加地時市さんは、1878（明治11）年に愛媛県伊予三島の農家に生まれました。10代の後半、明治30年ごろに海路日向へ渡って来ました。一足先に同じように四国から日向へ来て米・酒の卸問屋の手伝いをしていた先輩の蝶野さんに連れられて。そのころ四国では「宝が欲しければ日向へ行け、ただし、命を捨てる覚悟で行け」と言われていました。

（明治38）年に戦争が終わると日向へ戻り、出征した報酬を元手に友人と共同で精米所を始めました。また、友人と製材業も始めました。1917（大正6）年から現在地で酒やタバコ、米等を扱う日用品店を開きました。

その後、加地さんは、徴兵検査を受けるために一時郷里に帰り、日露戦争に出征します。1905（明治38）年に延岡で写されたもので、同じように四国の香川県から日向へ渡ってきた浜崎さん（右端）、中川さんと一緒です。日向では、まだまだ珍しい自転車に乗っています。3人はこの自転車を使って商いに精を出し成功を収めました。着物の姿に帽子、履物は両端の2人が靴で中央の中川さんは草履です。

下の写真は時市さんが愛用した自転車です。時市さんは、この自転車で延岡や都農へ、遠くは宮崎まで商いに出掛けました。道路はもちろんだ砂利道で、凸凹が多く普通に通るのも難しいのに荷物を積んでいます。その大変な努力が実を結び、商売を繁盛させ家族を守ってきました。

時市さんの3女の優子さんは、



加地時市さんの愛用した自転車

この自転車で乗る練習をしました。車輪が28インチと大きく、サドルの位置が高いのでペダルに足が届かず横乗り（三角乗り）だったそうです。高見橋からの下り坂を一気に走るとスピードが過ぎ過ぎてブレーキがかかれず、家の前でお兄さんたちにつかんで止めてもらいました。

今では、この自転車も時の経過により乗れなくなりましたが、家の宝として大事に残されました。日向で自転車屋さんが開業したのは、明治40年ごろ本町の黒木自転車店でした。

市史編さん室（宮内線2236）では、日向の歴史に関する皆さんからの情報をお待ちしています。

こちら編集室



新世紀です。今年、みなさんは、どんなことに挑戦しようと思っていますか。私は、満足のいく仕事はもちろんですが、趣味やスポーツにも熱中したいなあと考えています。

しかし、何事も目標だけでは達成できません。目標や目的とともに、しっかりととした計画も必要ですね。「一年の計は元旦にあり」と言います。今年こそは、しっかりととした目標に、きちんとした計画をもって、マイペースで頑張っていこうと思います。《矢野》



明治43年の日向ではまだ珍しい自転車

広報ひゅうが

平成13年1月号

編集/日向市役所総務課

〒883-8555

日向市本町10番5号

☎0982-52-2111

印刷/藤屋写真印刷(株)